

- 今年の種イモ 万能アイマサリに熱い視線
- 家庭菜園でBS材、困ったらリキダス
- 生産事業に挑戦、来年は規模拡大!?
- 4月からいよいよ野菜苗販売始まる
- 従業員まだまだ募集中★
- ナカツタイムス創刊、編集の難しさを実感

# ナカツタイムス

2026年  
3月



色々あって悩んでも最後は「馬鈴薯は馬鈴薯」

「ホームセンターはもう売っているのに」「一そんなお客様の声に応え、ナカツタヤのタネ馬鈴薯販売がついに始まった。近年、タネ馬鈴薯の生産量減少が顕著で、品ぞろえと安定供給が例年以上に問われる局面だ。同社は

産地情報を日々収集し、独自ルートで30品種・計6・2トンを確保した。

ただ品薄傾向は今後も見通しで、予断を許さない。

品種の廃止が相次いでいる。「インカのみ」に続き、人気の「シン

ナカツタヤのタネ馬鈴薯の販売が、いよいよ始まった。昨今の異常気象の影響で、全国の主産地が不作に見舞われるなか、同店は独自のルートで各地から種イモを確保。計30品種、総量6・2トンを店頭に並べた。今後も生産量や品種の動向から目が離せない。

## ナカツタヤタネ馬鈴薯開始 不作の中、30品種6・2トンを確保

ナカツタヤが農業生産に本格参入した。場所は松本市内、面積は東京ドームの約0・01倍。「改めて数字にするとかなり大きい」と担当者は胸を張る。圃場は地方の高い土地で、現在は春の定植に向け土づくりの最終段階にある。長年、お客様の相談に応じてきた同社がいよいよ自ら

### 語る側から作る側へ 松本市内で生産参入

土を耕す。「一言実行」か「口だけ」か、土の上での答え合わせが始まった。

#### 編集後記

ナカツタヤ編集部です。ついに、念願の新聞発行ができました。日頃は店頭でお客様と向き合う私たちですが、限られた時間の中では

予想外の土壌の硬さに「同絶句(＝松本市)」



どうしてもお伝えしきれないことがあります。本紙を通じて、商品のより詳しい情報や業界

の話題、そして少しか会社の裏側などをお届けしていければと思っております。



ラ変撃物スバユ資が  
り候直植レ「ミ  
や気をトステイ  
ゲなど農業の環境を軽減するイオスラント(BS材)への関心が高まっている。

### バイオスティミュラント検証 「本当にいいもの」独自選定

アミノ酸・フルボ酸・海藻由来成分など各社製品が乱立し、もはや植物界の「健康サプリメント」の様相だ。効果の見極めが難しい中、ナカツタヤは独自に選定した製品を自社圃場と連携生産者で実証試験に臨む。「本当に良いものを自分たちで選ぶ」と担当者の意気込みは高い。

病気に強く、煮崩れしにくい万能型として評判「はるか」、フランスで人気の「グウェン」なども注目品種だ。